

ラベル台紙の循環利用促進に向けた実態把握と事業者意識調査

川崎幹生 磯部友護 長森正尚 茂木守

1 背景と目的

近年、世界各地で水害をはじめとした自然災害が頻発し、甚大な被害が生じている。日本政府はCOP21で採択されたパリ協定等を踏まえ地球温暖化対策を総合的かつ計画的に推進するために「地球温暖化対策計画」を閣議決定(2016年5月)している。また、2021年4月には温室効果ガス削減目標を改定したことから、当該計画も新たな削減目標を踏まえ改定された。我々国民は、この地球温暖化対策計画を着実に実行することが喫緊の課題である。この計画には、廃棄物の処理に係る具体的な取り組みがいくつか挙げられている。主な取り組みとして次の4つが示されている：

- ①プラスチック製容器包装の分別収集・リサイクルの推進
- ②焼却施設における廃棄物発電の導入
- ③廃棄物焼却量の削減
- ④廃棄物最終処分場における準好気性埋立構造の採用

資源循環・廃棄物担当では、廃棄物の適正処理に係る様々な研究を実施してきたため、取り組みの中の③廃棄物焼却量の削減、特に事業所から排出される可燃ごみの削減に寄与するための研究を進めることとした。

第9次埼玉県廃棄物処理基本計画(2021年8月)では、事業系ごみ量の令和7年度目標値は45万1千トンである。一方、令和2年度の実績は49万1千トンであり、前年と比べ5万3千トン削減されていることから、このまま着実に削減できるならば目標達成は可能である。しかし、目標値を確実に達成するためには、事業所ごとのごみ排出量を減らすことが最も重要である。

事業系ごみ展開検査の経験から、ラベル台紙(シールをはがした裏紙)は、事業者がほぼ分別し、ある程度の量がまとまった状態で廃棄されていることが確認できているごみである。そのため、自治体での焼却処理を回避し、資源へリサイクル可能なごみであると考えられる。さらに、近年民間ではラベル台紙のリサイクルに関連したプロジェクトが2つ立ち上がっている^{1),2)}。また、欧米でも2年前からCELAB(Toward a Circular Economy for Labels)³⁾という取り組みが始まっている。

そこで本研究は、1)ラベル業界の環境対策の現況を把握すること、2)ラベル使用事業者のごみ処理に対する意識を把握すること、及び3)ラベル台紙廃棄実態を把握することを目的として調査を行い、ラベル台紙の循環利用促進に係る課題を抽出するとともに、事業者に対しラベル循環利用に係る情報提供を行うことによって、ラベル台紙の循環利用を促進し、それに伴う焼却ごみ量削減につなげることを目標とした。

2 方法

調査対象は、ラベル製造業者、ラベル使用事業者、自治体

職員であり、調査方法は、書面、Web、メール、対面、及びアンケートで実施する。本研究の年次スケジュールは図1に示した。各調査項目の概要を以下に記した。

(1)ラベル業界の環境対策現況調査

前述のラベル台紙の循環利用を目的とした日本における2つのプロジェクト、さらに欧米を中心としたプロジェクトの3つのプロジェクトについて、定期的に進行状況をWeb等で確認するとともに、場合によっては、メール等にて状況の確認を行う。

(2)事業者のごみ処理意識調査

・ラベル台紙排出事業者の抽出:ラベル製造業者や自治体職員からのヒアリング調査によって、ラベルを多量に使用している事業者を抽出し、事業者の情報をWeb等で収集・整理し、調査対象とする事業所を抽出する。

・事業者に対して、対面又はメール等で事業場でのごみ・資源の分別、処理、処分について調査を行う。また、ごみ処理に対する情報源や通常の注意点等についても調査を行う。

(3)ラベル台紙の廃棄実態調査

・対象事業所でのラベル使用量、ラベル台紙の廃棄量、排出先、処理方法等について調査を行い、ラベル台紙の廃棄に係る現況を明らかにする。

(4)ラベル台紙循環利用の現状について紹介

現在、ラベルメーカーで進行している2つのプロジェクトについて、事業者へ情報提供し、事業者の環境意識を啓発する。

調査等内容	R5				R6			
	4	7	10	1	4	7	10	1
1)ラベル業界環境対策の現況調査	●		●		●		●	
2)事業者のごみ処理意識調査								→
3)ラベル台紙の廃棄実態調査								→
4)循環利用の現状について紹介								→
5)学会発表・まとめ				●				●

図1 本研究の年次スケジュール

3 研究成果の活用方法

(研究成果の活用方法)

廃棄物関連の事業者啓発手法の提案:啓発手法としての調査の導入及び効果の検証

(埼玉県行政への支援効果)

県内自治体の焼却ゴミ量の削減及びサーキュラーエコノミーの推進。

参 考

- 1)「資源循環プロジェクト」, <https://www.shigenjunkan.com>
- 2)ラベル新聞,「ラベル循環協会設立準備団体 ラベル業界の循環システム確立へ 剥離紙の再生から実証実験」
<http://www.labelshimbun.com/news/2398>
- 3)「CELAB Europe」, <https://celab-europe.org/>